

に必要な利益をどの
に確保するか、受注
は「自社の理知的な注
費は無料、定員は先着10
3」へ。

で良かったと思える
者でありたい」と語
る。

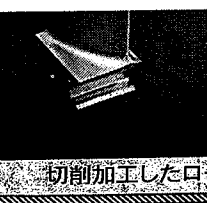
アロは、販売のほ
繁忙期対応や初めて
入企業にレンタルす
ロボット派遣」を行
中小企業導入促進に
めている。費用は月
万2000円から。

クラウド型ビジネス
収益構造改革で、地
性を「目指す」をテ
に、クラウド活用に
生産性向上、サービ
上、売り上げ向上を
した。

「働き方改
本質とクラウド活
め方」と題し、ク
で変わった組織や働
を紹介。「クラウド
のIT活用の目的
リアルタイム協働
は、捨てる・使う
く使ったもの勝ち
説した。

ニッチな分野であ
複雑な三次元形状
で切削加工する
その他の産業にも
きる。今後さら
生産性及び付加価値
に向け取り組んで

三 化学材料係
北島信義
県立産業技術セ
県立産業技術セ
て、03年に前橋と
開所した公設試験
関、技術支援、研
人材育成などを



切削加工したローターブレード



クラウド活用に聞き入る参加者

会いのあるつながりに
価値がある」と話した。
「経営効率化」などが紹
介されたほか、個別相談
会や展示ブース見学会で
クラウドを活用した製造業
の現場は盛り上がった。

エネルギー合理化を講演 栄光製作所の勅使河原社長

農原1109-2)の勅
使河原社長は7日、仙
台市で開かれた「16年度
エネルギー使用合理化シ
ンポジウム東北」(経済
産業省東北経済産業局主
催)で約200人の聴衆
を前に、基調講演を行っ
た。

同シンポジウムは、エ
ネルギー使用合理化の優
れた取り組みや国のエネ
ルギー政策の方向性、関
連予算、支援策などを紹
介するもの。
勅使河原社長は、「電
源管理を制するものは生
産管理を制する」と題し、
省エネ大賞を受賞した電



講演する勅使河原社長

源管理による省エネ活動
を紹介。「大企業はハード
面で改善できるが、中小
企業にはその投資能力が
なく、ソフト面からの改
善が最適。人材教育と環
境づくりに注力した当社
の取り組みを話してよか
った」と語った。
主催者の資源エネルギー
環境部エネルギー対策

特許・商標 弁理士 巨橋 羽鳥 前橋 231-6288

生産性向上を支援 IT導入補助金を公募

経済産業省は「IT導
入補助金」の公募を行っ
ている。
同補助金は、「16年度
補正サービス等生産性向
上IT導入支援事業」に
よるもので、ITツール
を導入する経費の一部を
補助すること、中小、
小規模事業者の生産性向
上を図ることが目的。計
画の策定や補助金申請手
続きなどについて、IT
ベンダーやサービス事業
者、専門家の支援を得る
ことで、目的達成を推進
する制度。
補助対象は、事務局が
認定したIT導入支援事
業者が登録するITツ
ルを導入する事業である
ことなど。補助金額は上
限100万円、下限20万
円。補助率は、サービス
ソフトウェア導入費の3
分の2以内。申し込みの
締め切りは28日。
問い合わせは、サービ
ス等生産性向上IT導入
支援事業コールセンター
(0570-0113)
330)まで。

県立女子大がコラボ デザインマッチング事業

県立女子大学はこのほ
ど、県内企業2社とコラ
ボレーションし、製品の
デザイン制作を行った。
3日から6日まで、けや
きウォーク前橋で開かれ
たデザインマッチング製
品展示会で披露した。
同事業は、商品開発強
化に取り組み県内企業
と、デザイン制作を希望
する県内教育
機関が連携し
て取り組む、
県の「デザイ
ンマッチング
事業」。



デザインを担当した県立女子大の学生

今回、同大
学の美術美術
史学科デザイ
ンゼミの生
徒が、ブレ
ス、板金を手
掛ける「ワテ
ックス」(伊
勢崎市)と共同で、ペン
立てやハンガー、ミニト
ングなどのステンレス商
品を、食品製造の「あぜ
みち&千代田饅頭(うど
ん)」(邑楽郡千代田町)
とプリン販売に使用する
手提げ紙袋のパッケージ
制作を行った。
打ち合わせを重ねて具体
化した製品は、今後、商
品として発売するものも
あるという。
デザインを担当した外
処光歩さん(21歳)は、
「相手の要望を形にする
のは難しかったが、自分
のデザインが形になって
うれしかった」と話した。
また、担当教授の高橋
氏は、「企業の思いを取
り込み実践するこの事業
は、教育的にも価値があ
る」と成果を語った。
同展示会ではこのほ
か、中央工科大学設計専
門学校の「フエンス用オ
ーナメント」「鉢カバー」
が展示された。
AIを学ぶ
27日、基礎セミナー
群馬産業技術センター
と県IoT推進研究会製
造分野部会は27日、「I
OT・AI技術活用した
め基礎セミナー」を同
センターで開く。

個人と個人、企業と企業、企業と地域——。点を線へとつなぐ活動を積極的に行っています。

「ぐんけい」から始まる化学反応

ビジネス・マッチング・サービス開始

購読企業様に向けた企業間交流活性化サービス

ぐんま経済新聞では潜在能力を秘めた企業様と企業様を繋ぎ合わせ、群馬県内に新たな風を起こしたいと考えております。震災の影響が残るこういう時期だからこそ、より人と人・企業と企業の強固な繋がりが重要だと思っております。多くの購読者様に支えられている「ぐんま経済新聞」だからできること。新たな価値のある創造力を生み出す手助けをさせていただきます。

こんな企業様にお勧め!

- 他業種企業とコラボレーションしたい!
- 特定のサービスや商品など共同開発の相手を探している!
- 新規事業のパートナーがほしい!
- 独自のサービスやノウハウがあるので利用してくれる企業はいないだろうか?

※マッチングサービスは原則無料ですが、サービスを受けるには「ぐんま経済新聞」を定期購読頂いている企業様が条件となります。
※現在、定期購読いただいている企業様には、相談企業様からの内容に即した場合、マッチングのご案内をさせて頂く場合もございます。
※ご了承頂くまでは、お互いの企業様名を公表することはございません。
※マッチングサービスから生まれた新規事業や新サービスは随時、紙面で紹介させていただきます

ご相談・お問い合わせは、下記連絡先までお気軽にどうぞ!「マッチングサービスの件」とおっしゃってください

